



### 【研究目的・意義】

適応放射線治療（ART: adaptive radiation therapy）は、治療期間中に生じる形態変化（腫瘍の縮小、体重減少、呼吸性移動や生理運動を除く治療期間中の体内の腫瘍位置の変化など）や腫瘍生物学または機能の変化に応じて、治療期間中に現状に適合した治療計画に変更することです。当院の治療機（Tomotherapy）に国内で初めてARTのアプリケーションであるPreciseARTが導入されました。そこで、本研究の目的は、Tomotherapy（Accuray）：PreciseARTを用いたARTの評価を行うことです。現在は研究段階ですが、臨床にARTが適用できれば有用性は高いと考えます。

### 【研究の方法】

治療装置はTomotherapy（Accuray）：Radixact、計画装置はTomoTherapy（Accuray）：Precisionを使用して、DA（Delivery Analysis）を用いて、PreciseARTを用いたARTの評価を行います。PreciseARTの評価は、ファントムを用いた基礎実験を行い、ARTの評価は、臨床に蓄積されたデータ（照射データならびに治療計画データ）をレトロスペクティブに解析します。

### 【個人情報の取扱い】

収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

### 【本研究に関する連絡先】

診療科名等：放射線治療センター

担当者氏名：田ノ岡征雄

[電話]（平日 9～17 時） 0797-87-1161